

家庭学習の手引き 竹野小学校 R6年度 ~家庭保存版~

1 家庭学習の手引きについての考え

学校では、1時間（45分間）の授業を大切に、子どもたちに質の高い学力を身に付けさせていきたいと考えています。さらに家庭との連携を図り、家庭学習を充実した内容にすることによって、子どもたちの学力がより確かなものになると考えています。そこで、家庭学習の手引きを作成し、保護者の皆様に配布することにしました。趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

2 家庭学習はなぜ必要なのか？



- ①学校で学習したことをしっかりと身に付けるため
- ②自ら学ぶ習慣（自ら計画を立て目標をもって学習に取り組む習慣）を身に付けるため
- ③こつこつと根気強く頑張る心を育てるため

にとっても大切なものです。中学校、高等学校、大学と年齢が進むにつれ、「自分から学習する」ということが大切になってきます。**小学生の段階から、机に向かって学ぶ習慣や、学び方を学んでいくことで、生涯にわたって学び続ける土台を築いていきましょう。**

3 家庭学習を進めるときに気を付けること

★集中して取り組むために

毎日、決まった時間に、決まった場所です。

★家庭学習をはじめる前に

テレビやゲーム、音楽は消し、机の上を整理整頓する。

★家庭学習が終わったら

家の人に見てもらい、明日の学習（持ち物）準備をする。

家族の協力が
必要です！

4 家庭学習の各学年のめあて

学習時間のめやす

10(分) × 学年 + 10分

低学年…20分～30分

中学年…40分～50分

高学年…60分～70分

***低学年**…家庭学習の習慣を身に付ける。

毎日、宿題をやり遂げる。

***中学年**…自ら学習に向かう習慣を身に付ける。

自主学習にも取り組む。

***高学年**…自ら進んで、目標を持って学習する習慣を身に付ける。

宿題・自主学習に取り組み、基礎・基本的な学習の定着を図る。

5 家庭学習を定着させるために「やる気を伸ばすほめ方」

子どものやる気を伸ばすために、学習していることに興味をもち、がんばりを認め、笑顔でほめてあげてください。



ほめるときのポイント

- ①真実味をもって伝える。（その場でできたことを肯定的に指摘する。）
- ②努力をほめる。（才能や性格などの性質よりも、努力の過程をほめる。）
- ③できたときにだけほめないように気をつける。（小さな育ちを大切に見取る）
- ④能力を比較しない。（兄弟や他の子と比較するのは避ける。）

宿題～主なメニュー～

毎日

最後まで

ていねいに

宿題は、毎日、一定の時間机に向かって学習する習慣をつくり、基礎・基本をしっかりと身に付けることが目的です。

全学年共通 (ほぼ毎日)	【国語】漢字ドリル・国語プリント・音読など 【算数】算数ワーク・算数プリントなど	
自主学習(例)	【低学年】	日記、読書・読み聞かせ（一言感想）、しりとり、言葉集め、計算練習、時計、長さ調べ、九九、動物・植物・自動車図鑑調べ、家の人の仕事調べ
	【中学年】 <small>低学年メニューに加え</small>	ことわざ、四字熟語、辞典（意味・漢字）算数問題づくり、ローマ字、地図記号、都道府県、教科書を使って予習・復習、星の観察、リコーダー、調理
	【高学年】 <small>低・中学年メニューに加え</small>	新聞記事（政治・文化・スポーツ）の感想、歴史上の人物・出来事調べ、英単語調べ、各教科テスト範囲のまとめ、歴史人物調べ

子どもの自己肯定感

子どもにどんな力をつけてあげたいですか？学力、コミュニケーション力、やり抜く力、思考力、それとも集中力でしょうか。どの力もとても大切で、それらすべての土台となる力が「自己肯定感」です。

自己肯定感は、生きていく力、幸せになる力そのものだからです。自己肯定感が高まれば、どんな状況も乗り越え、自分で決めたことをやり抜くことができるようになると言われていきます。自己肯定感は、私たち大人が子どもに渡すことができる、一生ものの宝物であり、プレゼントではないでしょうか？本校では、家庭や地域と連携しながら、子どもたちの「自己肯定感」を積み上げていきたいと考えています。みんなで子どもたちの育ちを「見る・気づく・伝える」環境をつくっていきけるように、どうぞご協力ください。